



睦
小
口
ムツミゴト

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止





前から
思っていたのですが

?

あの月は、
私の居た世界と
同じものなんでしょうか



そうだよ

……なあ

……そうか

……そういうつもりで
言ったわけでは

やっぱり、
外の世界が
恋しいか？



——私はな、

あの月が憎いよ



お前を縛り付ける
ものはないのにな

あの月さえ
なければ――



あなたたちしから
見えてませんから



今も、

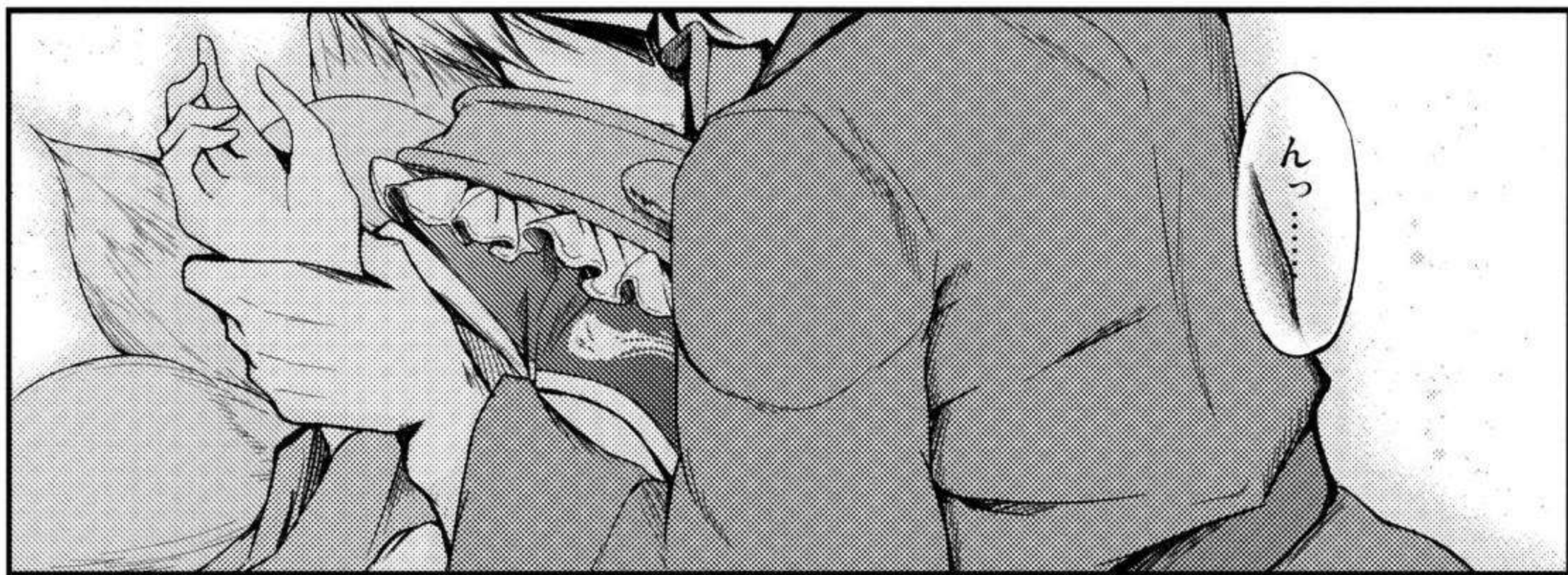
これからも、

大丈夫ですよ



.....

ありがとう



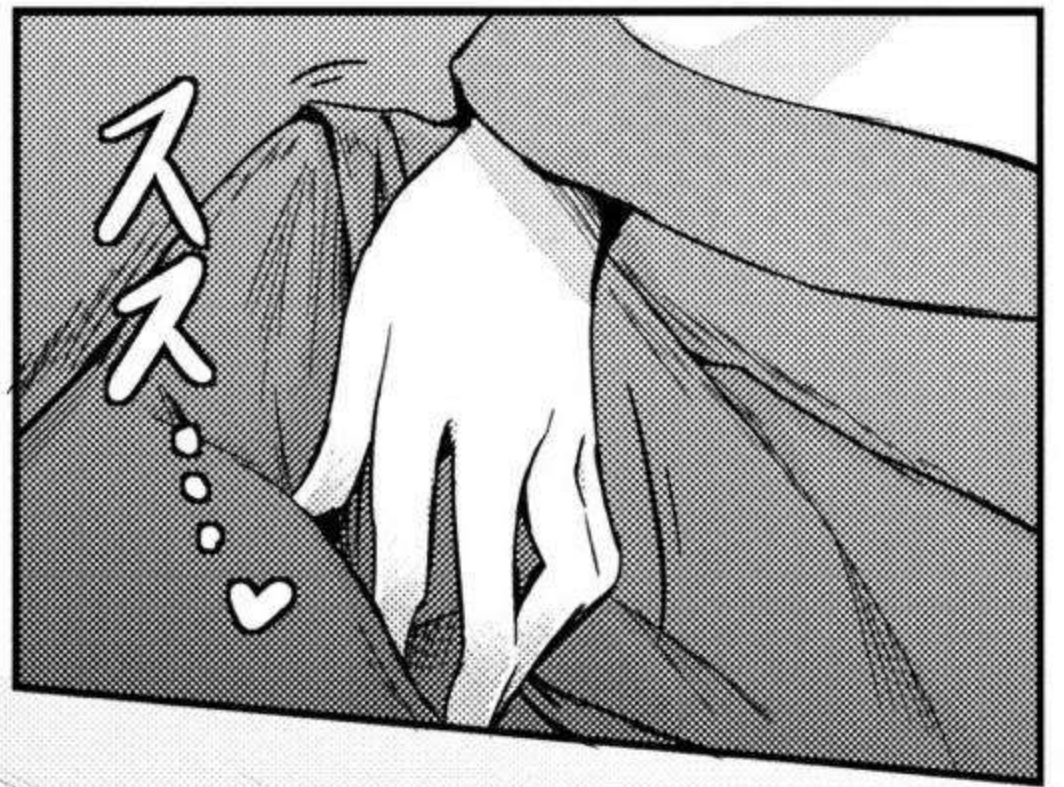
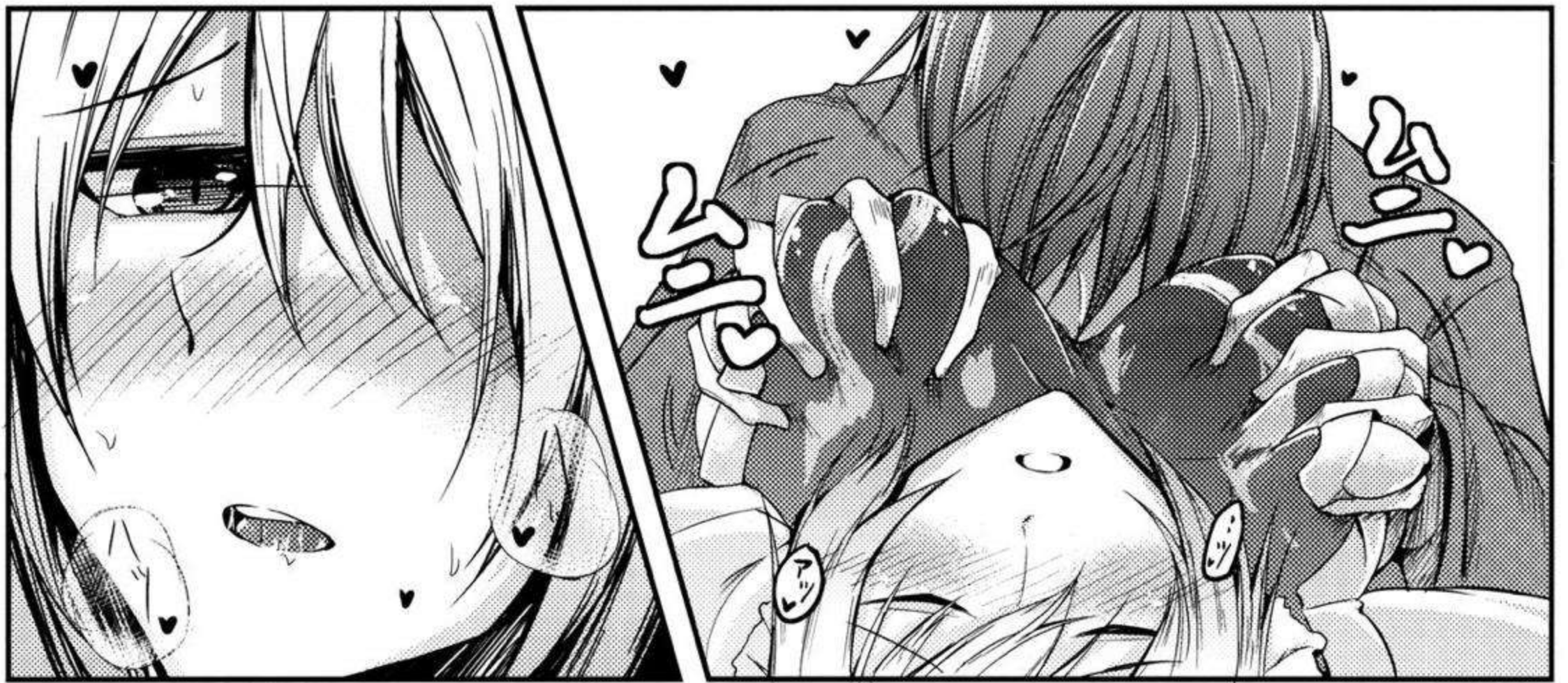
んっ……



軽めのキスを
交わしながら
藍を縁側に押し倒す

藍の方は
期待していたのか、
少しばかり敏感に
なっているようだ

そのまま藍の身体を
優しく愛撫し始める



藍の方も負けじと
私の愚息を
いじってくる

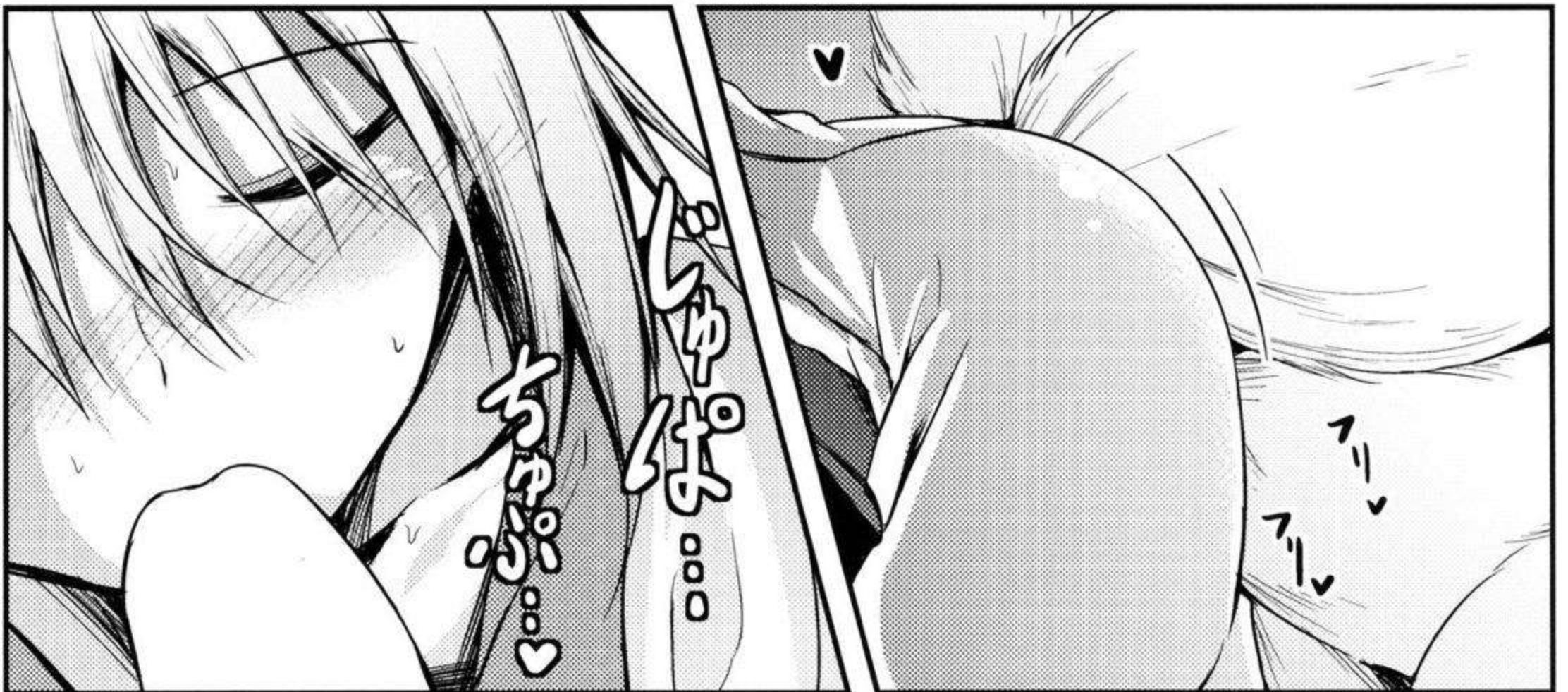
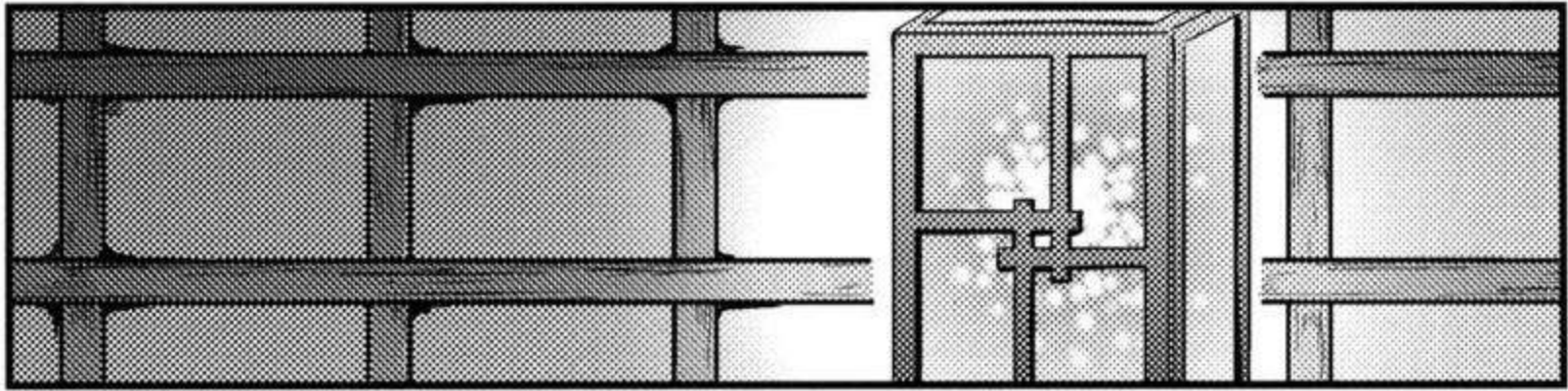
この絶妙に
加減してくるのが
とても心地よい

これだけでつい
達してしまいうるに
なるが、我慢ガマン

藍の身体を起こし、後ろから
法衣と前掛けの隙間に手を入れ、
その豊かな双丘を
思う存分揉みしだいて楽しむ

この体勢は
尻尾も含む色々な
柔らかさを味わえるから
お気に入りだ

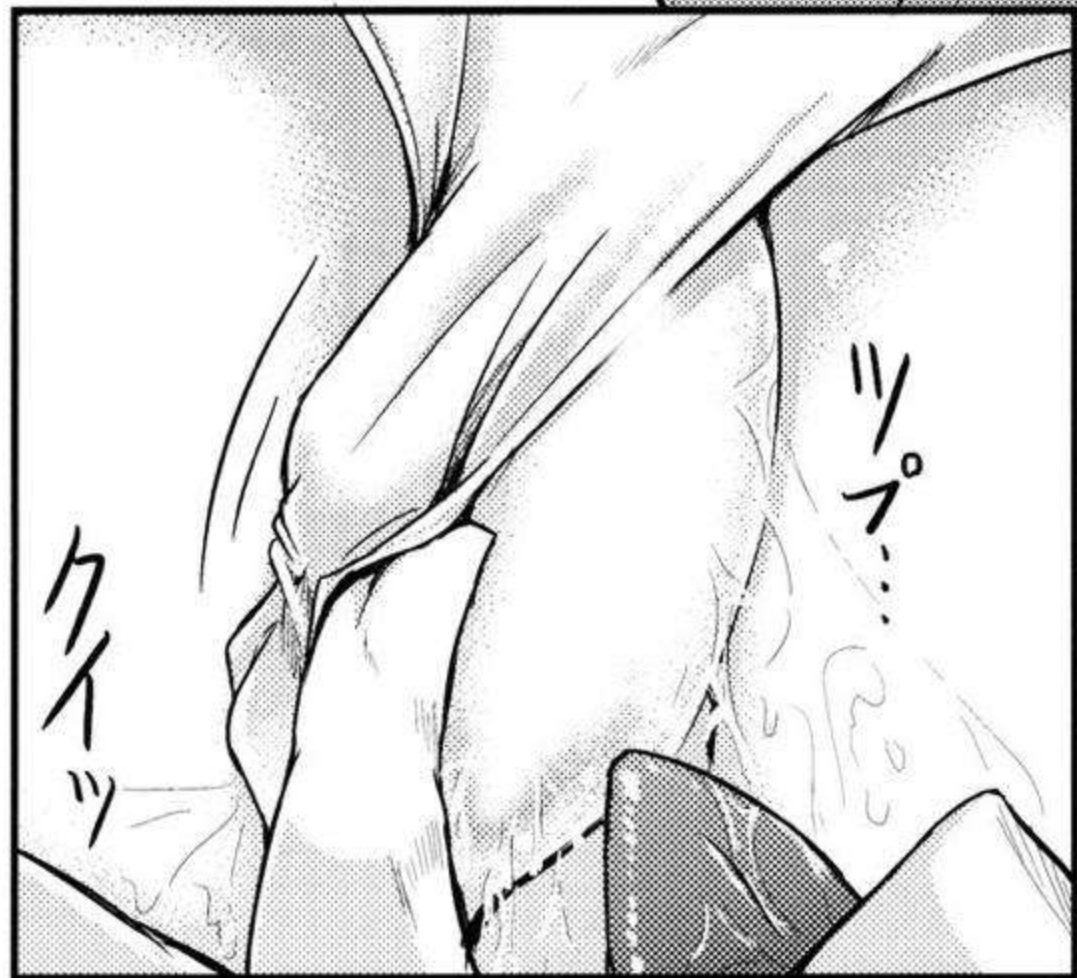






二つ巴の体勢になると、
藍は何も言わずとも
私の愚息を
口で奉仕し始める

舌を使ったり、
根本まで咥え込んだり、
存分に愚息を弄ばれる



藍の秘裂に
舌を伸ばすと、
ピクピクと身体全体を
可愛く反応させる





ポヨン



カクッ

温かい感触が
愚息を包み込んだ

柔らかな胸と舌で
刺激され、
一気に射精感が
襲いかかってくる



チユ

カクッ



た
ま
ら
ず
藍
の
口
内
へ
と
精
駅
を
吐
き
出
し
た



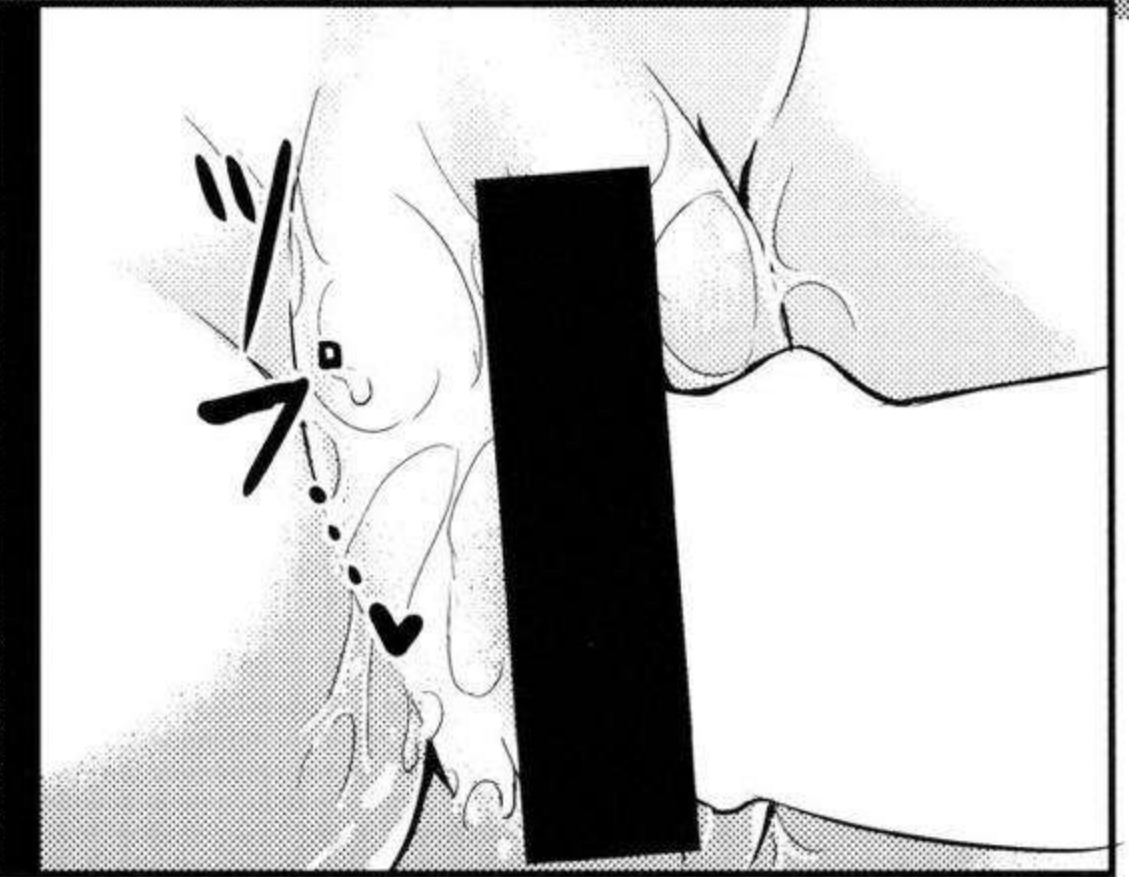
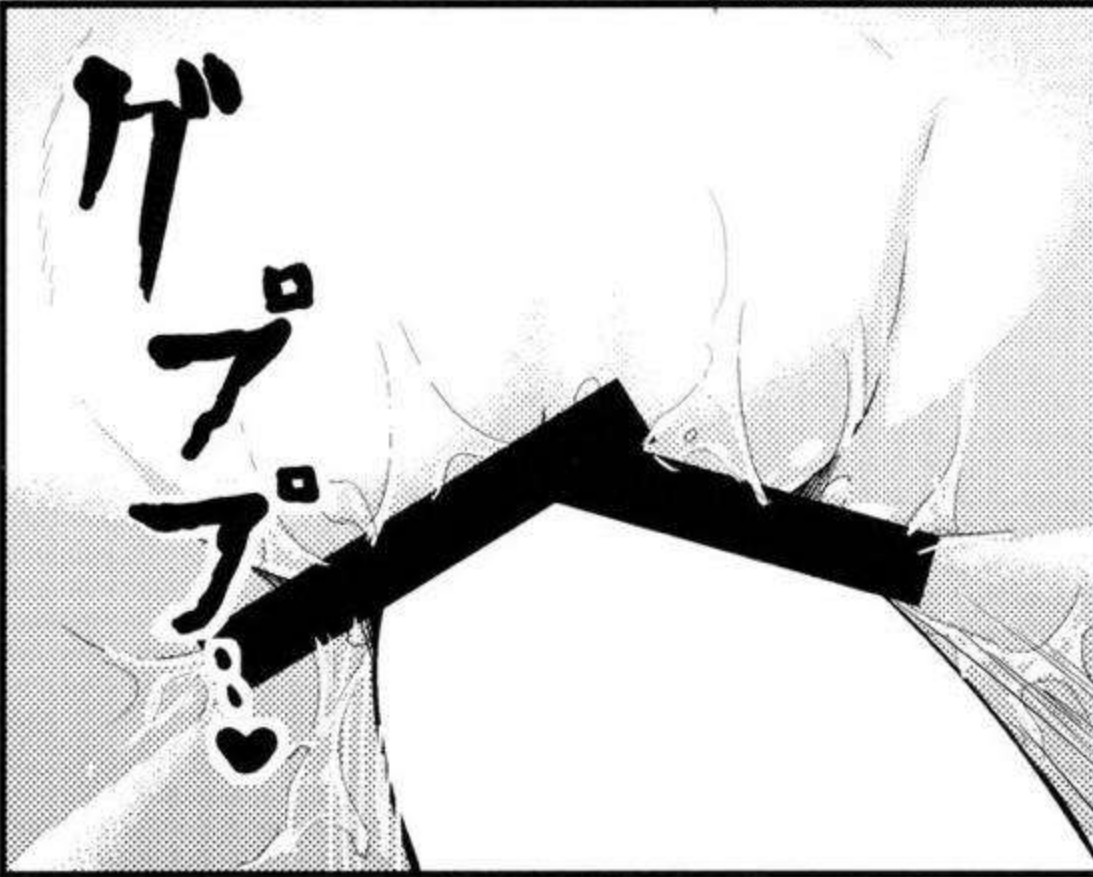
.....
ん、おいし





おっぱいもいいけど
そろそろ...ね?

.....それでは、
お言葉に甘えて



龟头を何度か
こすりつけたのち、
藍に挿入する

半分ほど挿れた所で
体がビクッと跳ねる

挿れただけで少し
達してしまっただ
ようだ

藍の返事を待たず、
好きなように
挿入を繰り返す

腰を打ち付ける度
身体を跳ねさせ、
楽しませてくれる

動きますよ



抱え起こした藍に
自分で動くよう促す

藍が動く度に
嬌声と水音が
心地いい音が
響く





私が愛する彼女たちは、
この言葉が大好きだ

耳元で小さく愛を囁くと
膣内がキュン、と蠢き
身体がピクン、と反応する



それに合わせ、
挿挿を段々と速くする



彼女の息が
荒くなってきた

ズン♡

藍の絶頂に合わせ
精を膣内へ注ぎ込む

一際大きく
藍の身体が跳ね、

やがて、
力尽きたように
撓垂れ掛かる

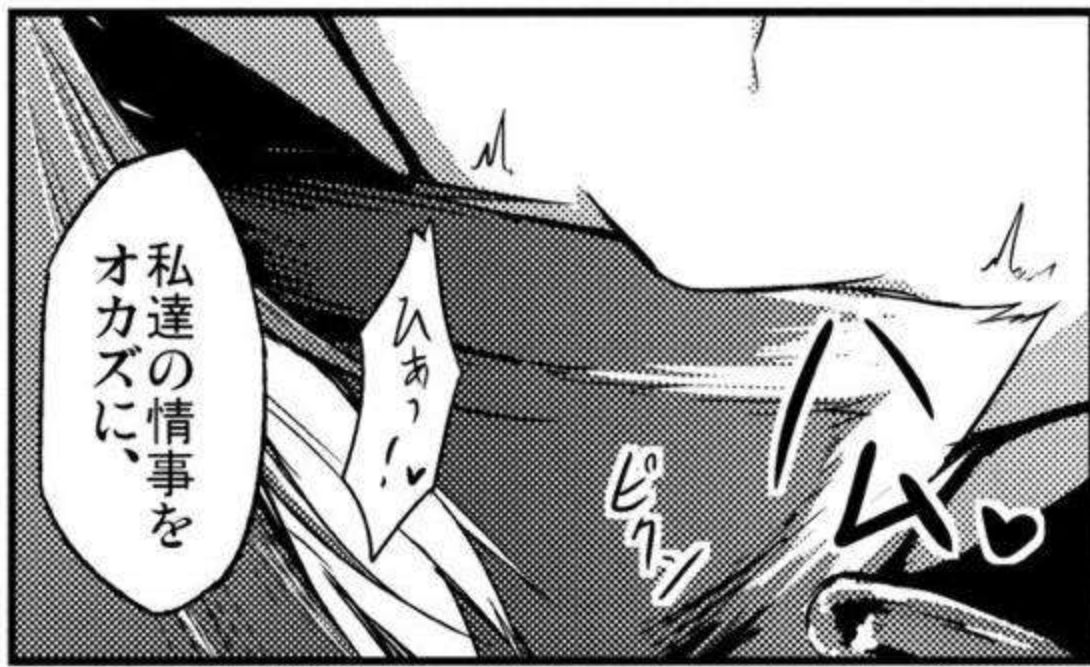
キュンッ♡

待って……
もう少し……

あん……

……
と、までは……
いかなかったな……







それなら、

ひゃっ



まったく……
仕方のない奴だ



お掃除、
してあげなさい



ほら、







布団に横たえた
橙の幼い秘裂に
愚息をあてがい

そのまま無理矢理
押し分けるようにして
一気に奥まで挿入する



ちよっと
苦しがつている
橙には悪いが、
やはり何度致しても
この犯罪気味の
体格差は興奮する



橙の身体を回転させ、
細い足腰を掴み
幼い膣内を好き勝手に
味わい続ける



橙の方もだいぶ
高まって来たようで

シーツを噛んで
声を押し殺してる

そんな健気な姿が
とても可愛いらしい





そのまま覆い被さり、
橙の膣内に容赦なく
精子を叩き込む



……やれやれ

そんなの貴女に
決まってるでしょう



ふふ、貴女は
ここで見てなさいな

私にも、
してくれるわよね？

ムニ♡

ハハハハハハハハハハ

私だけ
見てくれない
なんて、嫌よ？

ん……

服を脱いだ紫に乗りかかられ、
そのまま騎乗位の体勢で繋がる
紫の温かい膣内は
既に十分に濡れていた



紫が動く度、
前掛けの衣擦れと
蜜音が部屋に響く



下から軽く
突いてやると、
可愛い表情と
反応を見せてくれた





じゅる...

おっぱいが嫌いな男の子なんていません

ホントに好き
おっぱいから...
なんだから...

ポフッ

あん、もう、

みゅゅ



そのまま紫を抱きしめ、
耳元で愛を囁く
紫は私を抱きしめ返しながら
ビクビクと身体を震わせていた

んっ

じゅ

じゅるるる

ずんずん

そんな彼女の膈内に
欲望を吐き出す為、
激しく腰を打ち付ける

紫の身体が
一際大きく跳ねると
同時に彼女の膣内が
キュツと締まる

それに合わせる
かのように、
紫の膣内へ
精液が流れ込んでいく



私達だけを、見て？

もっと、見て？

ねえ……



何かしら?

幽々子様、

いえ……



……あれ?

……



新月
でしたっけ……

今日は……



どうだったかしら、ね

……さあ、

もしかしたら、

?



なくなつちやつたの
かもね、お月様

END

睦言 - ムツミゴト -



2014年5月11日 初版発行
第十一回博麗神社例大祭

発行

みどりねこ

制作

みどり

Webサイト

<http://www.pixiv.net/member.php?id=76139>

印刷

株式会社 栄光

Mail

midori0014@gmail.com

謝辞

ZUN(上海アリス幻楽団)





Long, Long Ago.
There was a green cat.